令和４年度　第３回　熊谷市地域公共交通会議　会議録

令和５年１月１３日（金）
午後１時～午後２時４０分
熊谷市役所本庁舎６階　６０３会議室

１　開　会

２　会　長あいさつ

３　議　事

（１）　地域内フィーダー系統（ほたる号）補助の評価（案）について
事務局：別添資料に従い説明。
→　報告の通り了承された。

（２）　熊谷市地域公共交通計画（案）について
事務局：別添資料に従い説明。
委　員：高齢者向けのサービスとして、運転免許返納時に交付する運転経歴証明書を提示すると各種割引を行うシルバー・サポーター制度があるが、これを熊谷市でも活用していくのはどうか。
事務局：既にゆうゆうバスでは運転経歴書提示で運賃無料にしている。タクシーでも一部事業者で割引を実施している。取り組み内容として計画書にも記載する。
委　員：利用者意見の中にタクシーは待ち時間分の運賃も掛かるとあるが、時間指定の配車等により極力利用者の負担が少なくなるよう配慮している。
会　長：利用者の意見なのでそのまま記述しているが、今後利用者にわかりやすい公共交通の使い方等を提示していくことも検討したい。
委　員：資料としてこれまでの人口推移を記載しているが、将来像を議論する上では将来推計も重要ではないのか。
事務局：計画を検討する上では総合振興計画に記載のある将来推計を参考にしていたが、本計画にも記載したいと考えている。
委　員：ゆうゆうバスの収支率改善目標が約５％と記載されているが、人口減少による利用者減と法改正に伴う運行コストの増加により収支率を改善するのは非常に困難である。より詳細に推計した上で目標値を出したほうが良いのではないか。
事務局：現状の収支率でも悪い値ではないが、県内では収支率２５％を達成している市町村もある。そのような事例を参考にしながら改善を図るべく、目標値として掲げたい。

委　員：熊谷市がどのようなまちづくりビジョンをもって地域公共交通計画を策定しようとしているのか教えて欲しい。

事務局：上位計画として定める総合振興計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の中で提唱する「コンパクト・プラス・ネットワーク」に位置付ける交通機関の役割・方向性を本計画で定義していきたい。

委　員：公共交通の利用者を増やすという観点ではターゲットは交通弱者に限らないので、通勤で利用する方にも便利な交通体系を目指し、結果的に全体の満足度が上がるような方向性を考えていただきたい。

会　長：本計画ではゆうゆうバスがメインになってしまうが、既存の基幹交通も含めて計画に含めているので総合的に検討していきたい。

委　員：ゆうゆうバスのお客様からの声で遅延を指摘される方が多い。限られた予算の中で必要な便数を確保するために、余裕のないダイヤ設定のため遅延が生じやすい。お客様としては定時性が高いほうが使いやすく、労働環境・安全性の観点からも余裕をもった運行計画にしていきたい。

（３）　ゆうゆうバス無料乗車デーの実施について

事務局：別添資料に従い説明。

委　員：具体的にどのようなＰＲを予定しているのか。２日間だけの実施であればなるべく事前に広く告知をしたほうが効果的であると思料する。

事務局：市報、ホームページ、熊谷市の公式ＬＩＮＥを使って周知していきたい。

委　員：過去５年間の実績値は平常時の人数なのか。イベント時であれば更に増えるのではないか。

事務局：平常時かつ土日・平日を含めた人数を記載している。休日で見ると利用者数が少ないので、平日並みの利用になることを想定として記載している。

委　員：無料日に乗車した人からの意見等も拾えると良いのではないか。

事務局：既に利用者・市民アンケートを実施済みであるため特段計画はしていないが、何かしら意見を集められるよう考えていきたい。

会　長：今回は初めて乗る方も多いと思うので、そのような人からも意見を取れる方法を考えていただきたい。

事務局：イベントを実施する際は市報を見て来る方は少ない。ＬＩＮＥ配信サービス（くまぶら）のほうが訴求力は高いと思料する。

会　長：なるべく周知がいきわたるコンテンツを活用しながら、事務局として準備を進めていっていただきたい。

４　その他

事務局：成田・星宮小学校の統廃合に伴い、現星宮小学校地区の生徒については本年４月より

スクールバスで成田小学校まで通学することとなっている。登下校以外の時間帯を星宮地区循環バスとして運行予定。地域からの要望や路線バスと競合がないルート設定とし、３往復の運行を計画している。２月～３月にかけて地域へ周知を行う計画である。

５　閉会

以上